

平成 27 年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	光と金属を用いる直截的分子変換手法の開発
研究代表者	村上 正浩（京都大学・大学院工学研究科・教授）
研究期間	平成 27 年度～平成 31 年度
審査結果の所見	本研究は直截的分子変換法の開発を目的としている。これまで応募者は、世界に先駆けて触媒的炭素－炭素結合の活性化反応を開発し、さらに、トリアゾールの化学的な反応性を開拓し、カルベン錯体が得られることを見いだした。本研究は、これらの研究成果に裏付けされ、非極性 σ 結合の光反応や上記のカルベン錯体から得られる活性な中間体を、金属触媒によって化学変換し、ワンポット（1つのフラスコ内）での化合物の合成を目的とする世界的にも先駆的な研究内容である。現時点では反応が限定されているが、以上の理由により、基盤研究（S）として推進することが適当と判断した。